

特別養護老人ホーム サンシャインセンター

職員が“自分の大切な人を入所させたいと
思える施設”づくりをめざしています



サンシャインセンターの自立支援介護の取組み

サンシャインセンターでは、水分、栄養、運動、自然な排泄を基本とし、従来のお世話介護ではなく、理論的、科学的根拠に基づいて、再びご自身の自立性の回復を目指した「自立支援介護」に取り組んでいます。ご利用者のADL（日常生活動作能力）を向上させ、ご利用者を再び在宅生活が送れるようになることを最終目的として、おむつを外す、再び歩けるようになるといった、ご利用者自身が元気になるケアを行います。

また、認知症ケアでは適切なアセスメントにより認知症の周辺症状の原因を把握し、その解決のために統一したケアを提供します。



外観



リビング



浴室



居室



地域交流室



施設のご案内

自立を支援する介護

～「お世話されるから、自分でできる」へ。自立支援介護の意味とは～

自立支援介護は、介護を必要とする人が自立した生活ができるように支援することです。自立に向けた介護を受ける人が身体的・社会的・精神的な自立を達成したり、改善したり、維持したりできるようにすることが目的です。従来の介護は、介護を受ける人ができないことを補完する「お世話」を行う介護でした。しかし、介護の在り方は変わり、介護を必要とする人が自主性を持って自分らしく生活できる「自立」に向けた支援に重点が置かれるようになっていきます。

本人の QOL の向上

自立支援介護により身の回りの動作が可能となれば、外出機会も増え、社会生活も活発化します。結果的に、毎日の生活の質が向上します。

介護度の 改善

自立支援により生活動作が向上すれば、介護度の改善が期待できます。介護度が進むと負担が大きくなるのが、医療費や介護費です。介護度が改善されれば、経済的負担を軽減できます。

家族の介護 負担の軽減

例えば、トイレでの排泄が可能になれば、オムツが不要になります。オムツ代が削減されるだけでなく、オムツ替えの必要もなくなります。歩けるようになれば、車いすも不要です。自立支援介護による介護負担の軽減は、介護する側、される側双方にメリットを生み出しています。身体的負担はもちろん、精神的負担も軽減することができます。

ご利用者の 1 日の流れ

